

本模擬問題における問題等の著作権はすべて東京CPA会計学院に帰属します。無断転載・二次利用は固く禁止いたします。

第156回日商簿記検定試験 模擬問題

採点欄	
第4問	第5問

2級 ④

第2回 工業簿記

受験番号 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

生年月日 \_\_\_\_\_

第4問 (20点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				

第5問 (20点)

直接原価計算による損益計算書では、売上高から変動費を控除して(①)を計算し、さらに固定費を控除して営業利益を計算する。×1期の①は(②)円、営業利益は(③)円である。一方、全部原価計算によると、×1期の売上総利益は(④)円、営業利益は直接原価計算と同じである。

×2期の営業利益は、直接原価計算によると(⑤)円、全部原価計算によると(⑥)円である。この営業利益の差は、全部原価計算において期末製品棚卸資産に含まれる(⑦)の分である。

仮に、×2期の製品生産量を5,000個とし、販売量に変化はなかったとすると、期末製品在庫量は(⑧)個になる。このときの営業利益は、直接原価計算によると(⑨)円、全部原価計算によると(⑩)円になる。